

平成15年（2003年）の災害記録

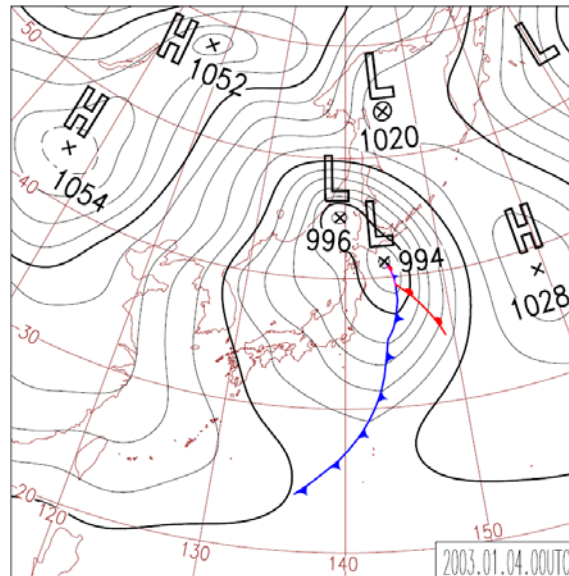
- ・ [1月4日～5日の大雪による積雪害（冬型）](#)
- ・ [5月12日～15日の大雨・強雨・波浪による](#)
[強雨害・推進外・海上波浪害（東シナ海低気圧）](#)
- ・ [5月29日～31日の大雨・強風・波浪・濃霧による](#)
[山がけ崩れ・強雨害・強風害・陸上視程不良害（台風第4号）](#)
- ・ [6月30日～7月1日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害・（梅雨前線、暖気移流）](#)
- ・ [7月19日～21日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害（梅雨前線、湿舌）](#)
- ・ [8月6日～8日の大雨・強雨・強風・波浪による](#)
[山がけ崩れ害・浸水害・強風害・海上波浪害（台風第10号）](#)
- ・ [9月11日～13日の大雨・強雨・波浪による](#)
[山がけ崩れ・浸水害・強雨害・海上波浪害（台風第14号）](#)
- ・ [11月27日～28日の大雨・強雨による浸水害・山がけ崩れ害・強雨害（暖気移流）](#)
- ・ [12月19日～20日の積雪・強風による積雪害・強風害（冬型）](#)

※目次に戻る場合は標題をクリックしてください。

1099 平成 15 年(2003 年)1 月 4 日～5 日の大雪による積雪害(冬型)

[気象概況]1 月 4 日から 5 日にかけて、上空 5,500m で氷点下 33℃以下の強い寒気が流れ込んだため、県北部、西部の山沿いを中心に広範囲で大雪となった。

1 月 5 日 06 時、日田で 4cm、09 時に中津で 4cm の積雪を観測した。

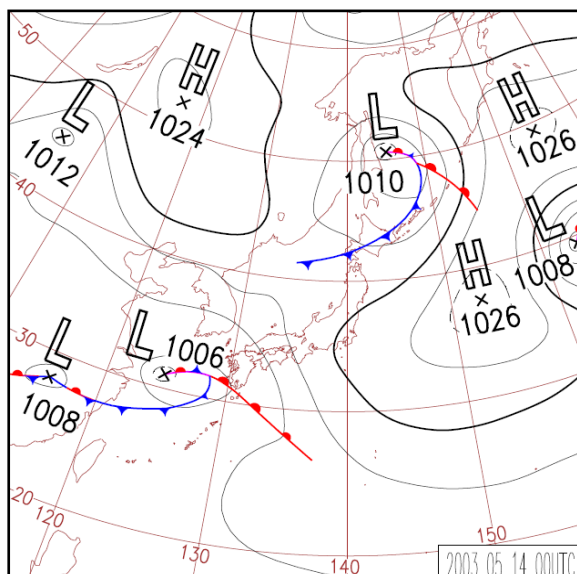


地上天気図 1 月 4 日 09 時

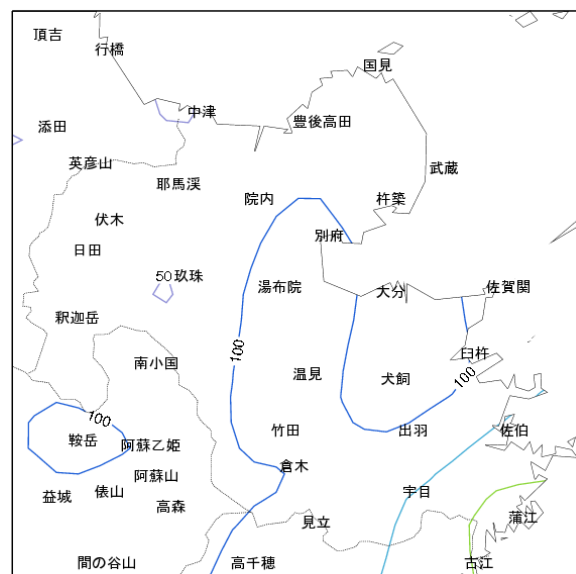
[被害概況]4 日から 5 日にかけて、積雪や路面凍結のため、大分自動車道は別府インターチェンジ～朝倉インターチェンジ(福岡)間、日出バイパスは全線でそれぞれ通行止め、山間部の道路ではチェーン規制が続いた。このため、高速バスは 5 日に福岡、長崎行きなどが全便運休。大分空港行きバスも 5 日午前中に最大で 2 時間の遅れ。これに伴い接続する大阪、東京行きの航空機 3 便も、それぞれ 30 分ほど出発が遅れた。また、天候不良のため、大分発着の別の 3 便が最大で 1 時間 40 分遅れた。強風のため、JR 日豊本線の特急列車や普通列車などに 5 日の始発から 10 分ほどの遅れが出たが、午後には正常に戻った。海上は強風や波浪のため、高速船ソレイユ(別府～広島・呉)が 5 日全便欠航。国道九四フェリー(佐賀関～愛媛・三崎)が 5 日 18 時の便から、スオーナダフェリー(竹田津～山口・徳山)が 5 日 19 時 50 分の便から、それぞれ運航を見合わせた。

1100 平成 15 年(2003 年)5 月 12 日～15 日の大雨・強雨・波浪による強雨害・浸水害・海上波浪害（東シ海低気圧）

[気象概況]5 月 14 日午前中、低気圧が九州南部を通過した。このため、大分県では南東海上から暖かく湿った空気が流れ込み、南部を中心に大雨となった。期間降水量は蒲江で 236mm、佐伯で 159mm に達した。蒲江では 14 日 08 時 20 分に最大 1 時間降水量 60mm を記録した。



地上天気図 5 月 14 日 09 時



降水量分布図 5 月 12 日～15 日

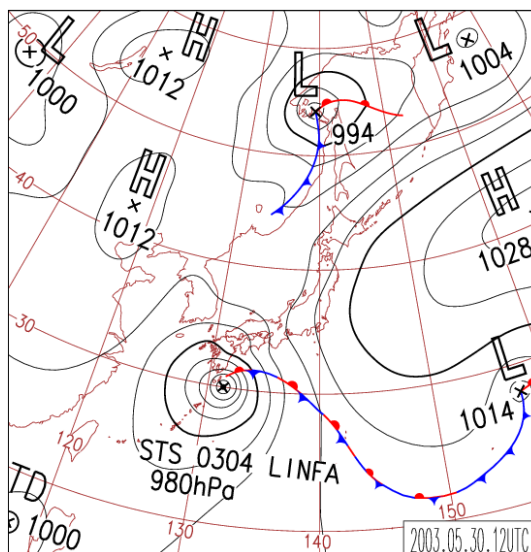
5月12日～15日の日別降水量(単位:mm)							
観測地点	12日	13日	14日	15日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	0	5	33	35	73	14	15日 16h00m
中津	0	7	19	22	48	8	15日 17h00m
豊後高田	0	4	26	43	73	14	15日 04h20m
耶馬溪	0	11	17	24	52	6	15日 03h40m
院内	0	8	25	38	71	8	15日 15h20m
杵築	0	9	14	22	45	6	15日 16h10m
武蔵	0	4	25	31	60	13	15日 02h50m
伏木	0	15	18	37	70	14	15日 14h30m
日田	0	10	21	39	70	16	15日 14h20m
別府	0	12	98	41	151	21	14日 09h10m
玖珠	0	6	11	23	40	13	15日 14h50m
湯布院	4	22	38	44	108	22	15日 02h20m
大分	0	15	35	41	91	13	15日 06h00m
佐賀関	0	5	49	56	110	22	15日 02h20m
釈迦岳	1	16	36	27	80	9	15日 14h10m
臼杵	0	6	61	15	82	14	14日 08h40m
温見	7	42	45	33	127	18	15日 15h50m
犬飼	2	11	34	14	61	10	14日 09h30m
竹田	3	42	33	36	114	12	15日 06h50m
出羽	10	50	43	6	109	8	14日 08h20m
佐伯	4	25	107	23	159	39	14日 08h30m
倉木	4	34	37	22	97	12	15日 16h10m
宇目	12	66	57	13	148	18	14日 08h10m
蒲江	9	104	118	5	236	60	14日 08h20m

[被害概況]南海部郡鶴見町で低地にある民家1世帯が約 50cm 床上浸水した。
(交通機関)JR 日豊本線では、14 日に浅海井駅－上岡駅間で 1 時間、徐行運転をした。この影響で、特急列車 2 本、普通列車 1 本に約 10 分の遅れが出た。
大分空港周辺の波浪の影響で、14 日に大分ホーパーフリーは午前中の 11 便が欠航となった。

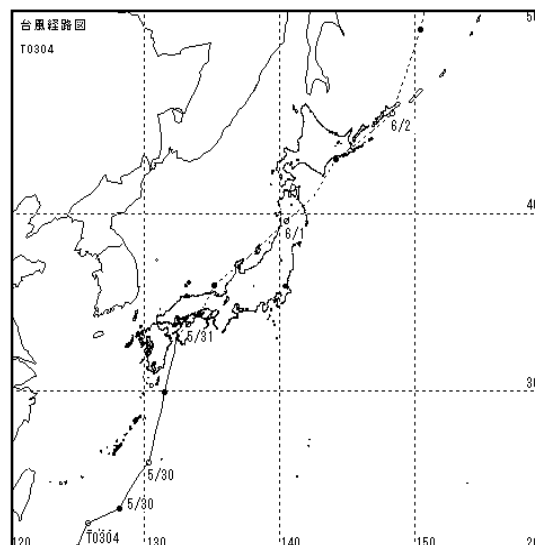
1101 平成15年(2003年)5月29日～31日の大雨・強風・波浪・濃霧による山がけ崩れ・

強雨害・強風害・海上波浪害・陸上視程不良害（台風第4号）

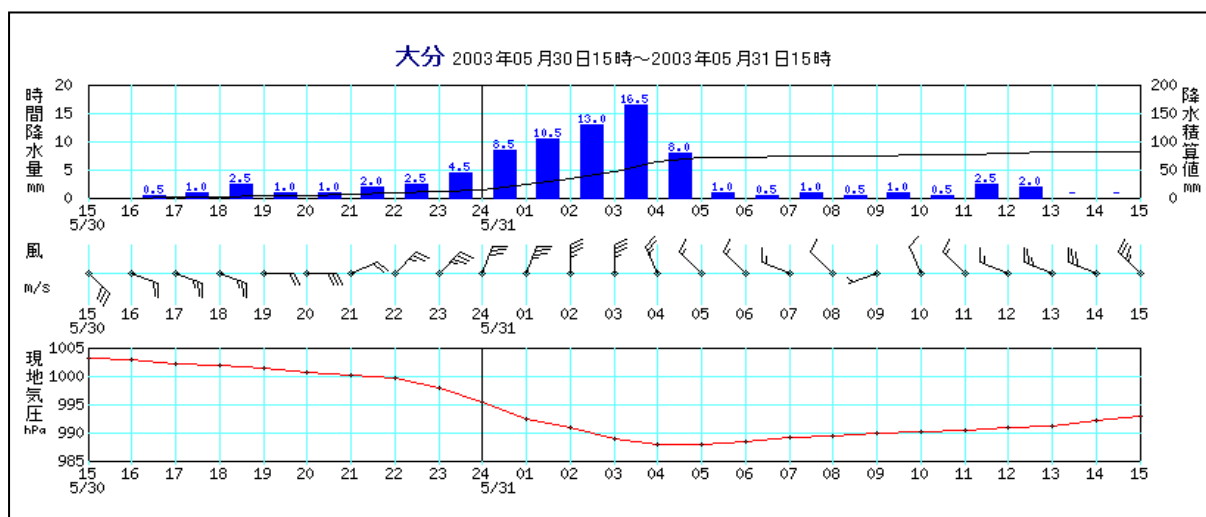
[気象概況]5月26日09時に南シナ海で発生した台風第4号は、29日には沖縄の南海上に北東へ進み、30日09時には沖縄の東南東の海上に達した。その後、次第に速度を速めながら、15時には名瀬市の南東海上、21時には種子島の南南東の海上へ進んだ後、日向灘、豊後水道を北上した。31日05時頃、宇和島市付近に上陸し、09時に温帯低気圧となった。台風は31日05時頃大分県に最も接近した。台風第4号の影響で大分県では、南部を中心に大雨となった。期間降水量は宇目で224mm、蒲江で177mm、出羽で171mm、臼杵で155mmに達した。



地上天気図 5月30日21時



台風第4号経路図 5月29日～31日



極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時・期間
日最大風速・風向	9.2m/s 北	5月31日 02h30m
日最大瞬間風速・風向	18.2m/s 北西	5月31日 19h38m
期間降水量(平年比)	81.5mm(551%)	5月29日～5月31日
最大日降水量	65.5mm	5月31日
日最大1時間降水量	17.5mm	5月31日 04h15m
日最大10分間降水量	4.0mm	5月31日 04h10m

5月29日～31日の日別降水量(単位:mm) 日最大風速(単位:m/s)・風向									
観測地点	29日	30日	31日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	0	19	84	103	20	31日 06h00m	6	南東	29日 16h30m
中津	0	10	53	63	10	31日 03h10m	10	南東	29日 14h10m
豊後高田	0	8	46	54	9	31日 05h10m	16	西北西	31日 16h50m
耶馬溪	0	8	37	45	7	31日 02h10m			
院内	0	22	47	69	10	31日 02h40m	8	北	31日 02h00m
杵築	0	10	41	51	11	31日 04h40m	8	北東	30日 24h00m
武蔵	0	11	78	89	23	31日 05h10m	14	北北東	31日 01h30m
伏木	0	8	24	32	5	31日 10h10m			
日田	0	4	17	21	4	31日 06h50m	5	西北西	31日 17h10m
別府	0	37	46	83	10	31日 02h30m			
玖珠	0	3	26	29	4	31日 11h20m	11	南東	29日 21h20m
湯布院	0	43	36	79	7	31日 01h00m	8	東北東	30日 20h00m
大分	0	16	66	82	18	31日 04h10m	9	北	31日 02h30m
佐賀関	0	27	51	78	13	31日 04h30m			
釈迦岳	0	9	31	40	4	31日 03h50m			
臼杵	1	97	57	155	15	31日 03h30m			
温見	3	63	29	95	11	30日 23h50m			
犬飼	0	44	30	74	8	31日 00h50m	10	北	31日 03h20m
竹田	1	49	19	69	10	30日 23h40m	5	西南西	31日 14h40m
出羽	1	118	52	171	14	31日 00h40m			
佐伯	1	52	67	120	22	31日 00h50m	7	北	31日 02h40m
倉木	0	82	71	153	27	31日 00h30m			
宇目	5	171	48	224	23	31日 00h30m	4	東南東	30日 19h30m
蒲江	0	96	81	177	32	31日 01h50m	9	北北西	31日 04h40m

[被害概況]台風による大雨で、山がけ崩れが宇目町、佐伯市など4箇所、道路損壊が宇佐市、安心院町の2箇所で発生した。交通機関では、30日と31日にフェリーの欠航や遅れが出た。30日の欠航状況はオレンジフェリー5便、国道九四フェリー23便、佐伯・宿毛フェリー4便、宇和島運輸フェリー3便が欠航した。31日はオレンジフェリー午前中の7便、国道九四フェリー午前中の全便、佐伯・宿毛フェリー午前中の4便、宇和島運輸フェリー5便、大分ホーパフェリー午前中の全便、高速船リムは全便が欠航した。JRでは、30日強風のため日豊本線の津久見駅ー日代駅間で一時運転を見合わせた。この影響で、特急列車4本に最大約1時間25分の遅れ、普通列車1本が1時間40分遅れた。また、特急列車2本、普通列車10本が部分運休した。航空便では、30日に東京発大分行きの日本エアシステム341便(20時25分着予定)が約10分遅れた。高速道路では、30日に濃霧のため、一部区間が通行止めとなった。高速バスのトピカル(大分ー鹿児島)は全便(4便)運休した。

台風の強雨により、北部、中部を中心に麦、野菜等の農作物に被害が出た。農作物等の被害総額は11,454万円。

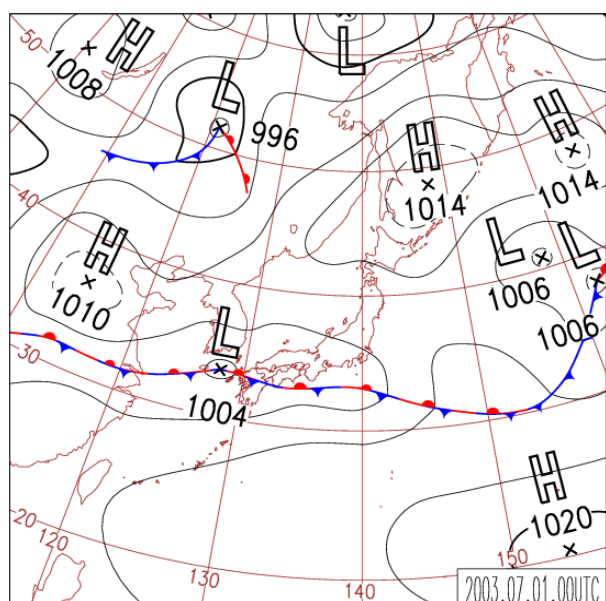
県内の小・中学校、高校のうち75校が30日午後の授業を順次打ち切り、児童生徒を途中下校させた。

被害状況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	15 か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	9 か所
	半壊・焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	棟	通信施設被害	145 回線
	床下浸水	棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	0.1 ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		ha		か所
水産業被害				11454 万円
林業被害				隻
				か所
交通	陸上	JR:部分運休12本 高速バス:運休4便		
	海上	フェリー:欠航多数		
	航空	遅延 1便		
電力・水道被害		停電 433戸		
被害資料の入手先		大分県警察本部、大分県、NTT大分支部、九州電力大分支部、大分合同新聞		

1102 平成 15 年(2003 年)6 月 30 日～7 月 1 日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害

(梅雨前線、暖気移流)

[気象概況]6 月 30 日から 7 月 1 日にかけて梅雨前線が九州北部に停滞した。この影響で大分県では、南西から暖かく湿った空気が流れ込み、西部、北部を中心に大雨が降った。6 月 30 日から 7 月 1 日にかけて伏木で 147mm、耶馬溪で 144mm、院内で 136mm の雨を観測した。



地上天気図 7 月 1 日 09 時



降水量分布図 6 月 30 日～7 月 1 日

6月30日～7月1日の日別降水量(単位:mm)					
観測地点	30日	1日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	4	90	94	21	1日 06h30m
中津	10	103	113	23	1日 04h00m
豊後高田	5	90	95	15	1日 06h50m
耶馬溪	30	114	144	18	1日 03h10m
院内	24	112	136	29	1日 03h20m
杵築	27	75	102	20	1日 00h20m
武蔵	14	71	85	14	1日 04h00m
伏木	58	89	147	34	30日 23h00m
日田	42	59	101	27	1日 00h30m
別府	56	74	130	37	30日 23h30m
玖珠	33	73	106	31	1日 00h50m
湯布院	34	70	104	25	1日 01h10m
大分	33	60	93	16	1日 21h10m
佐賀関	25	70	95	20	1日 00h10m
釈迦岳	37	69	106	30	1日 00h30m
臼杵	13	41	54	14	1日 01h40m
温見	11	47	58	20	1日 01h20m
犬飼	11	38	49	16	1日 01h30m
竹田	3	53	56	26	1日 01h40m
出羽	4	41	45	12	1日 02h10m
佐伯	2	22	24	9	1日 02h00m
倉木	10	43	53	20	1日 01h20m
宇目	6	23	29	8	1日 01h50m
蒲江	2	12	14	6	1日 02h40m

[被害概況]7月1日11時50分頃に日田市大字三和のブドウ畑で裏山の土砂が幅約70m、長さ約300mにわたって崩落し、作業中の女性1名が生き埋めとなり、救出後死亡が確認された。

土砂崩れがあった現場は、1980年に台地斜面の谷部を埋めて造成された階段状の畑。横に走る農道を挟んだ山頂側に飼料用のトウモロコシ畑、下段に被害にあった女性のブドウ畑があった。

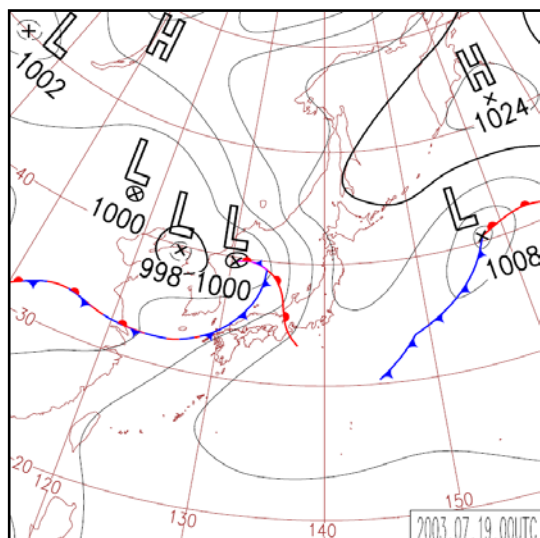
7月1日09時頃、宇佐郡院内町で町道に面した法面が幅20m、高さ4mにわたって約30㎡の土砂が崩落し、町道上に流出した。

被害状況			
死者・行方不明者		1 人	道路損壊
負傷者		人	橋の流失
被災者		人	鉄軌道被害
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り
	半壊・半焼・一部破損	棟	堤防決壊
	床上浸水	棟	通信施設被害
	床下浸水	棟	木材流失
耕地	流失・埋没	5.4 ha	山林焼失
	冠水	ha	船舶被害
農業被害		ha	1 か所
水産業被害		隻	533 万円
林業被害		㎡	ha
交通		か所	万円
電力・水道被害	陸上		
	海上		
	航空		
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、大分合同新聞	

1103 平成 15 年(2003 年)7 月 19 日～21 日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・

強雨害(梅雨前線、湿舌)

[気象概況]7 月 19 日から 21 日にかけて、九州北岸に停滞していた梅雨前線の活動が活発となり、大分県西部を中心に大雨となった。西部の釈迦岳では7 月 19 日から 21 日の期間降水量 287mm を観測した。また 21 日 04 時に最大 1 時間降水量 81mm を観測した。



地上天気図 7 月 19 日 09 時

7月19日～21日の日別降水量(単位:mm)						
観測地点	19日	20日	21日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	18	6	54	78	32	21日 03h20m
中津	14	11	12	37	12	19日 07h00m
豊後高田	10	9	13	32	10	21日 04h50m
耶馬溪	27	23	18	68	20	19日 07h00m
院内	14	22	12	48	10	20日 16h00m
杵築	6	18	11	35	6	20日 03h10m
武蔵	5	14	16	35	8	21日 05h30m
伏木	40	51	21	112	28	19日 06h50m
日田	35	43	14	92	23	19日 06h50m
別府	4	20	7	31	8	20日 16h20m
玖珠	20	30	23	73	17	19日 07h50m
湯布院	13	35	28	76	16	20日 22h50m
大分	8	21	17	46	9	21日 03h30m
佐賀関	2	17	11	30	6	20日 03h30m
釈迦岳	92	70	125	287	81	21日 04h00m
臼杵	4	19	16	39	7	20日 03h20m
温見	9	41	4	54	13	20日 03h20m
犬飼	12	21	9	42	9	19日 10h00m
竹田	17	42	6	65	12	20日 16h10m
出羽	4	27	4	35	9	20日 03h30m
佐伯	2	19	5	26	8	20日 17h20m
倉木	10	43	3	56	14	20日 03h10m
宇目	9	29	3	41	9	19日 11h10m
蒲江	20	18	4	42	20	19日 11h50m

[被害概況]梅雨前線の大雨の影響で、21 日に日田郡前津江村で県道西大山大野日田線上に土砂が幅約 5m、高さ約 5m 流出する等の土砂くずれが、日田郡前津江村を中心に 6 箇所発生した。

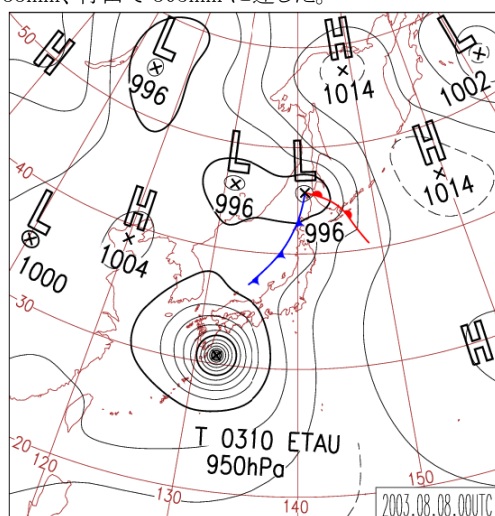
(交通機関)19 日午前、列車の運行に乱れが出た。JR 日豊本線は 08 時頃から大分発上り特急列車の運転を 1 時間 30 分見合わせた。特急列車 10 本が運休。2 本が部分運休。JR 久大本線は 07 時頃、天ヶ瀬駅の雨量が運行基準に達し、日田駅ー北山田駅間で約 2 時間運転を見合わせた。特急列車 2 本が運休、普通列車 4 本が部分運休した。

21 日 09 時 30 分頃、熊本県一の宮町 JR 豊肥本線宮地駅で、大雨のため特急列車 2 本が肥後大津駅ー豊後竹田駅間で部分運休になった。

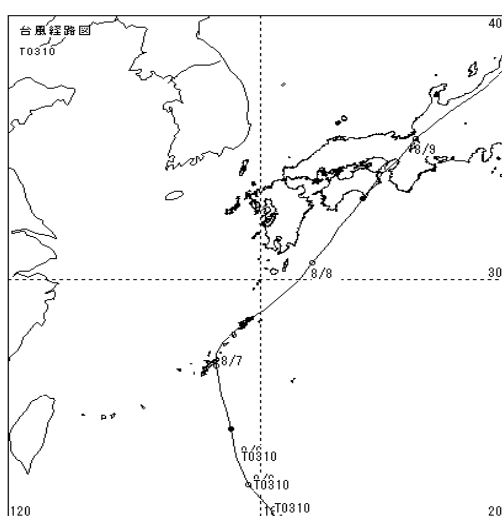
航空便では 19 日 09 時 35 分に大分空港を出発予定だった大阪行き JAL エクスプレス 662 便は、大雨の影響で乗客の到着が遅れたため、出発を 55 分遅らせた。

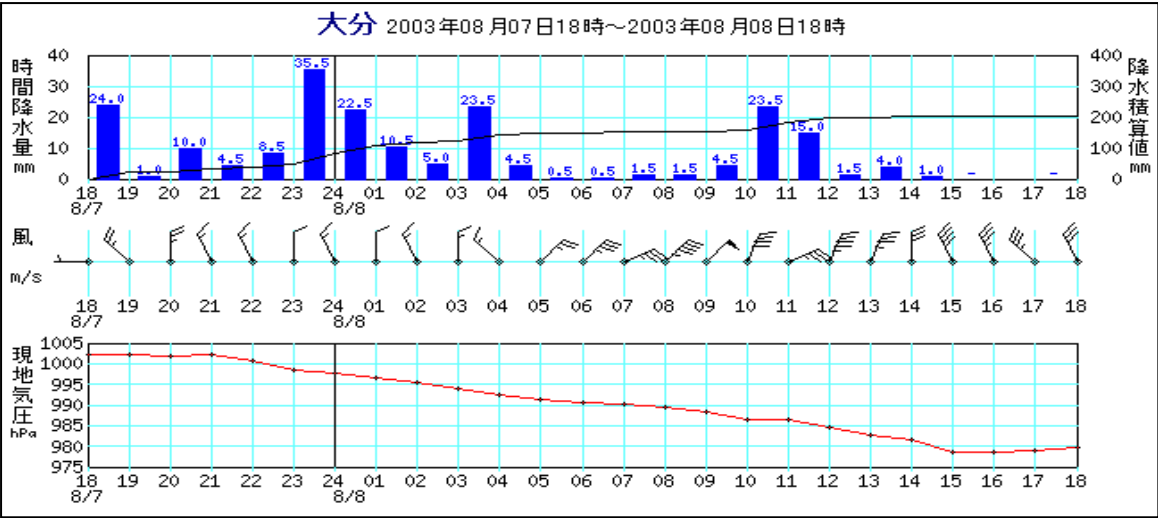
1104 平成 15 年(2003 年)8 月 6 日～8 日の大雨・強雨・強風・波浪による山がけ崩れ害・ 浸水害・強風害・海上波浪害(台風第 10 号)

[気象概況]8月3日15時、フィリピンの東海上で発生した台風第10号は、5日03時には「強い」台風になった。6日21時には那覇市の南南東の海上に達し、7日09時には、奄美大島の名瀬市付近を通過した。7日午後には勢力は最も強まり、中心気圧945hPa、最大風速45m/sとなった。8日09時には、種子島の東海上に達した後、日向灘を北東へ進み、8日21時30分頃、高知県室戸市付近に上陸した。その後、いったん瀬戸内海を通過し、9日06時頃に兵庫県西宮市付近に再上陸後、本州を縦断し、10日03時には千島近海で温帯低気圧に変わった。大分県では、7日20時頃強風域に入り、8日13時頃南部が暴風域に入った。台風が大分県に最も接近したのは8日夕方、8日20時頃には暴風域を抜け、9日07時には強風域を抜けた。台風の北上に伴い、大分県では風雨が強まり、南部、西部を中心に大雨となった。期間降水量は、倉木で372mm、宇目で333mm、竹田で305mmに達した。



地上天気図 8月8日09時





極 値 表 (大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時・期間
最低海面気圧	979.7hPa	8日 16h31m
日最大風速・風向	12.0m/s 北東	8日 08h40m
日最大瞬間風速・風向	21.6m/s 北北東	8日 08h35m
期間降水量(平年比)	213.5mm (1,167%)	6日～8日
最大日降水量	120.0mm	8日
日最大1時間降水量	36.5mm	7日 00h03m
日最大10分間降水量	9.0mm	7日 23h30m

[被害概況] 台風の接近に伴う大雨により、清川村では村営住宅近くの山法面が崩れ、付近の9世帯21名に避難勧告を出した。直入郡荻町大字木下では裏山の崖(8m×8m)が崩落し、住宅の一部(風呂及びボイラー)を損壊した。津久見市宮本では、境内の木が駐車中の車に倒れ、車両に被害が出た。玖珠郡九重町では、町道沿いの杉の木(高さ20m、1本)が倒れ、道路を塞いだ。その他、宇佐市で側溝の水が増水し、民家が

床下浸水する等の被害が出た。また、南部、西部を中心に山がけ崩れ、道路損壊等が発生した。

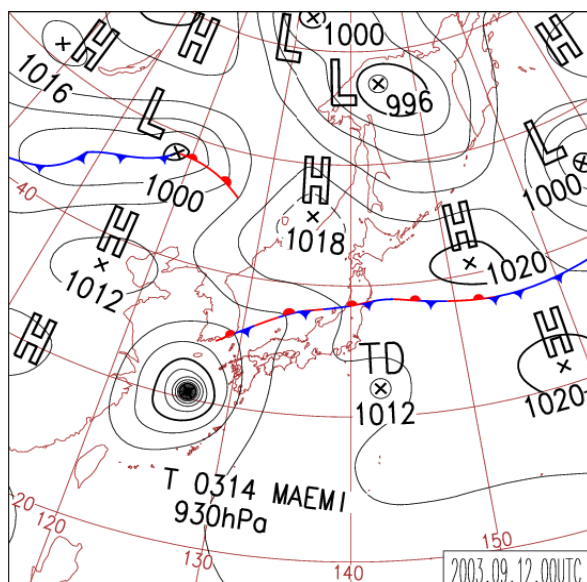
(交通機関) JRでは、豊肥本線、久大本線が11時頃から全面運休したが、17時30分頃から大分駅-中判田駅、大分駅-豊後国分駅間で折り返し運転を再開した。日豊本線では、午前中から佐伯駅以南で普通列車は運休した。14時40分頃、海崎駅-直川駅間の送電線に木が倒れ、撤去作業のため同区間で約2時間20分運転を見合わせた。フェリーでは、大分と四国、中国地方などを結ぶ6社が終日欠航した。宇和島運輸フェリーは20時50分発の便から運航を再開した。高速バスでは、長崎、熊本、延岡、名古屋便は終日運休した。福岡便は16時40分から、鹿児島便は23時05分から運行を再開した。航空便では、東京発大分行き日本エアシステム341便(20時25分着)を除いて全便欠航した。

(農業被害) 早期米、野菜、大豆に被害が発生した。また、佐伯南郡地域では、強風により園芸用ビニールハウスの被害が発生した。

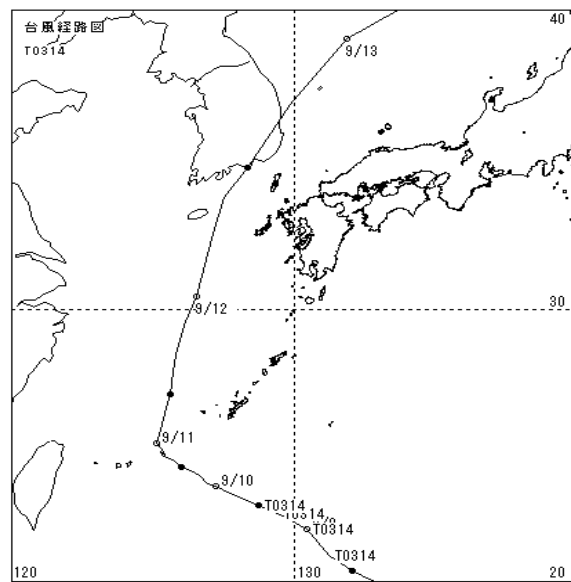
被 害 状 況			
死者・行方不明者		人	道路損壊 165 か所
負傷者		人	橋の流失 か所
被災者		人	鉄軌道被害 1 か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り 19 か所
	半壊・半焼・一部破損	6 棟	堤防決壊 か所
	床上浸水	棟	通信施設被害 272 回線
	床下浸水	18 棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	13.38 ha	山林焼失 ha
	冠水	5 ha	船舶被害 隻
農業被害		587 ha	か所
水産業被害		隻	104328 万円
林業被害		m ³	ha
交通		陸上	JR、高速バス運休多数
		海上	フェリー欠航多数
		航空	欠航 39便
電力・水道被害			
被害資料の入手先		大分県警察本部、大分県、大分合同新聞	

1105 平成 15 年(2003 年)9 月 11 日～13 日の大雨・強雨・波浪による山がけ崩れ・浸水害・ 強雨害・海上波浪害（台風第 14 号）

[気象概況]9 月 6 日 15 時、マリアナ諸島近海で発生した台風第 14 号は、9 日 03 時には、南大東島の南海上へ進み「強い」台風に発達した。9 日 21 時には那覇市の南海上に達し、「非常に強い」台風に発達した。10 日 21 時には宮古島の南東海上に達し、「猛烈な」台風に発達した。11 日 09 時には、宮古島の北北西の海上へ進み、進路を北に変え、勢力を幾分弱めながら東シナ海を北上した。12 日 21 時には「強い」勢力を保ちながら、朝鮮半島南部に上陸した後、日本海へ進み、14 日 06 時にはオホーツク海で温帯低気圧に変わった。大分県では、台風第 14 号の影響で、11 日夕方から、12 日早朝にかけ、南東海上から暖かく湿った空気が流れ込み、南部、中部を中心に短時間強雨を伴う大雨となった。各地の最大 1 時間降水量は、臼杵では 11 日 22 時 40 分に 83mm(臼杵観測所の統計開始以来累年第 1 位)、佐伯では 11 日 23 時 10 分に 74mm(佐伯観測所の統計開始以来累年第 1 位)、佐賀関では 66mm に達した。番匠川では大雨により、河川の水位が上がり、一時番匠橋観測所では警戒水位を越えた。また、大分県は 12 日 12 時頃強風域に入り、13 日 00 時頃強風域を抜けた。



地上天気図 9 月 12 日 09 時



台風第 14 号経路図 9 月 10 日～13 日

極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時・期間
日最大風速・風向	9.3m/s 南西	13日 08h40m
日最大瞬間風速・風向	19.7m/s 南西	13日 08h22m
期間降水量(平年比)	181.5mm (756%)	11日～13日
最大日降水量	96.5mm	12日
日最大1時間降水量	34.5mm	11日 21h25m
日最大10分間降水量	10.0mm	12日 10h36m

9月11日～13日の日別降水量(単位:mm)									
観測地点	11日	12日	13日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	12	28	0	40	11	12日 03h10m	5	南南東	12日 23h50m
中津	0	11	1	12	7	12日 02h30m	8	×	13日 11h40m
豊後高田	6	20	0	26	10	12日 02h00m	10	西南西	13日 08h30m
耶馬溪	0	15	1	16	12	12日 02h20m			
院内	7	12	0	19	6	12日 02h30m	6	南南西	13日 08h30m
杵築	42	58	0	100	21	12日 11h40m	6	南東	12日 20h30m
武蔵	23	69	0	92	26	12日 02h20m	15	南南西	12日 02h40m
伏木	0	9	0	9	4	12日 02h40m			
日田	0	11	0	11	4	12日 20h50m	6	南南西	13日 10h30m
別府	29	59	0	88	23	12日 01h30m			
玖珠	1	24	2	27	10	12日 02h00m	8	東南東	12日 13h00m
湯布院	18	18	0	36	7	12日 02h20m	13	南西	13日 01h10m
大分	85	97	0	182	34	11日 21h20m	9	南西	13日 13h30m
佐賀関	101	83	0	184	66	12日 00h10m			
釈迦岳	0	20	4	24	7	12日 20h50m			
臼杵	180	84	0	264	83	11日 22h40m			
温見	44	43	1	88	10	12日 02h20m			
犬飼	111	88	0	199	41	11日 21h10m	5	西南西	13日 16h20m
竹田	32	24	0	56	15	12日 01h40m	5	西南西	13日 04h40m
出羽	147	102	0	249	60	11日 21h40m			
佐伯	146	77	0	223	74	11日 23h10m	7	南	12日 20h20m
倉木	53	44	0	97	20	12日 01h30m			
宇目	172	130	0	302	67	11日 21h30m	5	南南東	12日 19h00m
蒲江	129	12	0	141	58	11日 22h40m	11	南南東	12日 14h50m

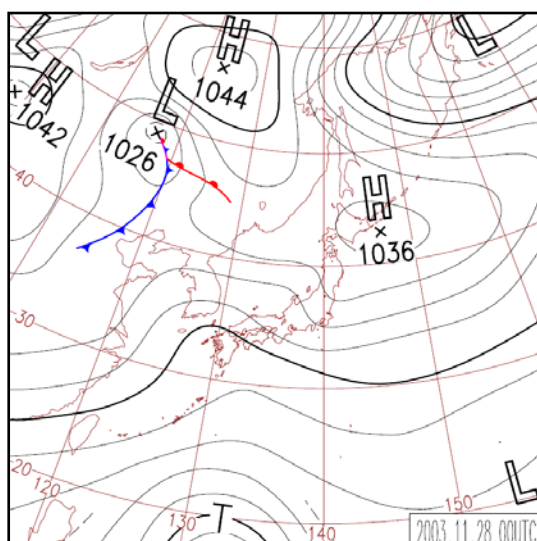
[被害概況]台風の接近に伴う大雨により、南部、中部を中心に5箇所の山がけ崩れが発生した。また、臼杵市では道路からの雨水が流入し、3棟で床下浸水が発生した。(交通機関)JRでは、大雨の影響で、豊肥本線、日豊本線で運休、遅延が相次いだ。フェリーでは、スオーダフェリー、佐伯・宿毛フェリー、国道九四フェリー、宇和島運輸フェリー、高速船レイユ、大分ホーバーフェリーで欠航が相次いだ。

被害状況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	42 か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	5 か所
	半壊・焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	3 棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		6 ha		か所
				109 万円
水産業被害		隻		か所
				万円
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上	運休 12本		
	海上	欠航		
	航空			
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、大分合同新聞		

1106 平成 15 年(2003 年)11 月 27 日～28 日の大雨・強雨による浸水害・山がけ崩れ害・ 強雨害(暖気移流)

[気象概況]11 月 27 日から 28 日にかけて九州付近は日本の東海上に中心を持つ高気圧の後面となり、気圧の谷の場となっていた。また、フィリピンの東海上には台風第 21 号があつて、大分県は南東海上からの暖かく湿った空気の流れ込みが続いていた。このため、県の南東部沿岸を中心に 27 日夜から 28 日にかけて、短時間強雨を伴う大雨となった。27 から 28 日の期間降水量は佐伯で 296mm、蒲江で 277mm、臼杵で 130mm を観測した。日降水量は 27 日に杵築で 57mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 1 位)、臼杵で 73mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 2 位)、28 日に佐伯で 170mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 1 位)、蒲江で 182mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 3 位)を観測した。最大 1 時間降水量は佐伯で 27 日 23 時 40 分に 31mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 1 位)、蒲江で 28 日 21 時 40 分に 36mm(1979 年からの統計開始以来 11 月の累年第 3 位)を観測した。

県が設置している雨量計によると、鶴見有明浦観測局(鶴見町)では 28 日 07 時から 09 時までの 2 時間で 191mm の猛烈な雨が降り、27 日 09 時から 28 日 15 時までの雨量が 615mm に達した。米水津色利浦観測局(米水津村)でも 28 日 06 時から 08 時までの 2 時間で 145mm の非常に激しい雨が降り、27 日 09 時から 28 日 15 時までの雨量が 479mm に達した。



地上天気図 11 月 28 日 09 時

11月27日～28日の日別降水量(単位:mm)					
	27日	28日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	49	14	63	9	27日 21h50m
中津	47	8	55	5	28日 09h20m
豊後高田	45	14	59	5	27日 22h20m
耶馬溪	49	6	55	5	27日 20h10m
院内	44	9	53	5	27日 09h00m
杵築	57	15	72	10	27日 22h40m
武蔵	27	13	40	3	28日 00h10m
伏木	42	1	43	7	27日 08h00m
日田	33	0	33	6	27日 08h10m
別府	47	33	80	6	28日 06h40m
玖珠	44	5	49	7	27日 08h30m
湯布院	39	6	45	4	27日 22h50m
大分	63	27	90	9	27日 23h10m
佐賀関	54	58	112	8	28日 06h50m
釈迦岳	46	2	48	10	27日 08h00m
臼杵	73	57	130	12	27日 23h20m
温見	40	12	52	5	27日 10h00m
犬飼	51	22	73	8	27日 23h10m
竹田	30	6	36	3	27日 22h00m
出羽	54	26	80	7	27日 11h00m
佐伯	126	170	296	31	27日 23h40m
倉木	39	4	43	5	27日 10h20m
宇目	65	32	97	9	28日 00h40m
蒲江	95	182	277	36	28日 21h40m

[被害概況]27 から 28 日の大雨により、鶴見町沖松浦で高さ 25m にわたって民家の裏山の土砂が崩落し、庭の納屋が押しつぶされ全壊した。その後、更に土砂が家屋内に入り込み床等が破損した。28 日米水津村では、竹野浦地区などで河川が氾濫し、床上浸水、床下浸水の被害があった。その他、鶴見町、米水津村を中心に床上浸水、床下浸水、山がけ崩れが続出した。

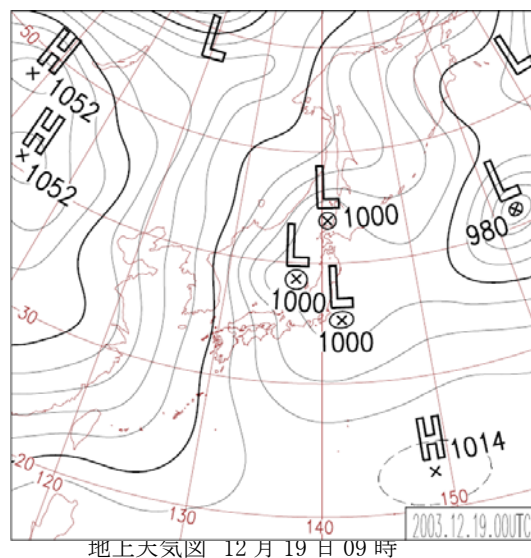
[交通機関]28 日 08 時ごろ、JR 日豊本線の佐伯駅で、雨量が運行基準値となり、浅海井駅－上岡駅間が時速 35km 以下の徐行運転となった。この影響で、特急列車 3 本、普通列車 3 本に最大約 30 分の遅れが出た。

[その他]県教育委員会によると、28 日、県南を中心に降った大雨のため、佐伯市や鶴見町、米水津村の小・中学校 7 校が休校や一斉下校の措置を取った。

被 害 状 況			
死者・行方不明者		人	道路損壊 14 か所
負傷者		人	橋の流失 か所
被災者		人	鉄軌道被害 か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り 27 か所
	半壊・半焼・一部破損	7 棟	堤防決壊 か所
	床上浸水	41 棟	通信施設被害 回線
	床下浸水	145 棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	8.2 ha	山林焼失 ha
	冠水	ha	船舶被害 隻
農業被害		ha	1456 万円
水産業被害		隻	万円
林業被害		m ³	ha
交通	陸上	遅延 6本	万円
	海上		
	航空		
電力・水道被害			
被害資料の入手先		大分県警察本部、大分県、大分合同新聞	
報告刊行物			

1107 平成 15 年(2003 年)12 月 19 日～20 日の積雪・強風による積雪害・強風害(冬型)

[気象概況]12 月 19 日から 20 日にかけて、西高東低の冬型の気圧配置となり、上空 5,500m で氷点下 24℃以下の強い寒気が流れ込んだため大分県では、北部、西部の山沿いを中心に積雪があった。中津で 20 日 09 時に積雪 2cm を観測した。



極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日最大風速・風向	8.7m/s 西北西	19日 14h20m	大分
	20m/s 西	19日 13h30m	豊後高田(a)
日最大瞬間風速・風向	19.1m/s 北西	19日 12h01m	大分
降雪の深さ日合計最大	0cm	20日	大分
日最低気温	-3.7℃	20日 24h00m	玖珠(a)
	-3.5℃	20日 23h40m	湯布院(a)
	-1.5℃	20日 22h20m	宇目(a)
	-1.3℃	20日 06h40m	竹田(a)

[被害概況]19 日の午前中、JR 日豊本線中山香駅と柳ヶ浦駅で、強風により断続的に風速が運行基準値を超えたため、日豊本線の一部区間で時速 25km 以下の徐行運転が繰り返され、大分駅－博多駅間の特急列車 4 本が運休(部分運休含む)したほか、ダイヤに乱れが出た。

大分自動車道の日田インターチェンジ－日出ジャンクションは朝から通行止め。一時解除されたが、夕方から山間部を中心に降雪が強まり、日田インターチェンジ－別府インターチェンジ、日出ジャンクション間が通行止めになった。これに伴い高速バスは、福岡－別府・大分など 2 路線の計 89 本を運休した。

(その他)19 日、積雪により県内の小・中学校、高校合わせて 8 校が下校時間を早めた。

[参考] 積雪状況 20 日 07 時 玖珠(玖珠消防署)5cm、湯布院(大分地域消防組合 湯布院出張所)4cm